（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「And place」実施事業
事業主体 （連絡先）	Andplace 実行委員会 安曇野市穂高 1835-2　0263-75-2784
事業区分	（６）ア　特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,545,407　円（うち支援金：1,831,000　円）

事 業 内 容

主に若者世代で、新しい繋がりやコミュニティをつくるきっかけづくりと、小商い業者の地域での経済圏の確立を目指し、And place 事業を実施。
地元農家、クラフト作家、キッチンカー業者などが集まり、販売だけでなくワークショップを開催することで、交流機会を促進する。
出店者、参加者とで一緒に作るアート作品で、思いをつなげる作品を作る。

【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

① 参加者と出店者のコミュニケーションの量を増やし、新たな繋がりをつくる。
② 出店者の新規顧客の獲得やファンを増やし、地域で継続して事業が展開できる基盤を作る。

事 業 効 果

①出店者にワークショップを義務付けることで、販売だけでなく、コミュニケーションをとる時間を増やした。アンケートによる新しい繋がりの有無の結果も、80%以上を目標にしていたが、95%を超える反応だった。
②普段店舗を持っていない出店者が多い中で、マルシェによる地元住民との接点を増やすことで、顧客獲得の機会になったと思う。だが、参加者８０００人を目標にしていたが、天候不順により５０００人程度の参加者になってしまった。

※自己評価【　A　】

【理由】
出店者アンケートの反応がとても良かった。イベント後のアート展示にも足を運んでいただく方もいて、人と人、物だけではなく安曇野の魅力的な場所との繋がりを作り出すことができた。

今後の取り組み

今回のイベントに限らず、地域で活躍する事業者と魅力的な企画を打っていくことで、地元住民の方たちとの多くの接点を作りたい。継続すること、自分たちが楽しんで、それをしっかり発信していくことが重要だと思う。
繋がりがコミュニティとして機能していくには、イベント規模は小さくても接点を多く作り、地域住民が運営に参加するような企画を作っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある